

**公益財団法人生協総合研究所 常設研究会**  
**「ユニバーサル就労調査研究会」概要**

### 1. 研究会の趣旨・目的

2013年6月日本生協連総会で決定した「第12次全国生協中期計画」では、障がい者就労や働きにくい状況におかれている方々への生協の就労支援のあり方について検討することとしているが、現在、障がいの有無だけでなく、孤立や精神的・社会的な複合的要因によって、一般就労が難しく、働きづらい人が増えており、生活困窮に陥る危険性が問題となっている。

国では、新たなセーフティネットの構築の検討がすすめられ、2013年1月には、「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」報告書を公表し、さまざまな理由から直ちに一般就労を求めることが難しい生活困窮者に対しては、段階的に「中間的就労」の場や社会参加の場を設けていくことが必要だとしている。

生協関係でも先進的な就労支援の取り組みとして、社会福祉法人生活クラブ風の村などで「ユニバーサル就労」がすすめられている。

このような状況のなか、生協としてさらなる地域福祉の役割発揮と、対応方針の具体化のための調査研究を日本生協連からの委託を受けて進める。

### 2. 研究会のアプローチ・方法

日本生協連の中期計画課題への対応方針策定をすすめるにあたって、現在の社会的状況や、生協内外における先進的な就労支援の取り組み状況等の基礎的な調査研究を行う。

- ① 生協内外における「ユニバーサル就労」や、障がい者雇用等の取り組み状況のマッピング。
- ② ユニバーサル就労を拓げるうえでの「中間的就労」や、関連制度、社会的環境についての状況整理。

### 3. 開催内容

第1回 2014.01.28	1. 講演：本間 貴明（厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 課長補佐） テーマ：「生活困窮者への新たな支援制度について」 2. 報告：椎木 修司（株式会社ハートコープひろしま 取締役事業部長） テーマ：「生協ひろしまの障がい者就労の現状と今後の課題」
第2回 2014.03.25	1. 講演：且田 久雄（株式会社ダックス四国 代表取締役社長） テーマ：「エフピコグループの障がい者雇用と民間企業での障がい者雇

	<p>用の現状」</p> <p>2. 報告：村城 正（社会福祉法人 協同福祉会 理事長）          テーマ：「協同福祉会におけるユニバーサル就労の取り組み」</p> <p>3. 報告：吉島 孝（みやぎ生協 総務部長）          テーマ：「みやぎ生協の障がい者就労の現状と今後の課題」</p>
<p><b>第3回</b> <b>2014.05.27</b></p>	<p>1. 講演：福原 宏幸（大阪市立大学大学院 教授）          テーマ：「中間的就労はどうあるべきか」</p> <p>2. 報告：本多 敬（大阪いずみ市民生協 常務理事）          テーマ：「大阪いずみ市民生協グループの取り組み紹介」</p> <p>3. 報告：永井 啓一（大阪府みどり公社 農政チームマネージャー）          テーマ：「農と福祉の連携」</p> <p>視察見学：          大阪いずみ市民生協における就労支援の取り組みについて、「特例子会社ハートコープいずみ」及び「農業生産法人株式会社いずみエコロジーファーム」の視察見学を行った。</p>
<p><b>第4回</b> <b>2014.08.04</b></p>	<p>1. 講演：山田 雅穂（中央大学総合政策学部 兼任講師）          テーマ：「障害者の雇用・就労政策の現状と今後の展望—障害者権利条約とISO26000を中心に—」</p> <p>2. 報告：川端 宏一（コープあいち 総務部長）          テーマ：「ユニバーサル就労に向けたコープあいちの取り組み」</p>